

午後 試験

問 1

出題趣旨

システム開発プロジェクトの目標を確実に達成するためには、プロジェクトメンバが生産性を最大限に発揮するように、メンバに対して役割や目標を自覚させることが重要である。そのためには、メンバのスキルや経験などの力量を考慮した動機付けが重要となる。

本問は、プロジェクトの立上げ時に実施したメンバへの動機付けの内容と方法、及びプロジェクトの遂行時にその動機付けを維持・強化した具体的な行動について論述することを求めている。論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべき組織要員管理に関する知識、動機付けや要員育成などの人的側面に関する能力や経験などを評価する。

問 2

出題趣旨

プロジェクトマネージャ（PM）は、システムの品質目標達成のために、品質を作り込む施策と品質を確認する活動を計画する。設計工程では、品質を作り込む施策が確実に実施されるように管理するとともに、品質目標の達成に影響を及ぼすような問題点を、品質を確認する活動によって早期に察知し、必要に応じて品質を作り込む施策を改善していくことが重要である。

本問は、設計工程での品質を作り込む施策と品質を確認する活動の内容、察知した問題点、特定した原因、品質を作り込む施策の改善内容、その成果と残された課題について、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、PM として有すべき品質計画、品質管理に関する知識、実践能力などを評価する。

問 3

出題趣旨

業務用ソフトウェアパッケージ（以下、業務パッケージという）採用の目的には、業務プロセスの改善、開発期間の短縮、保守性の向上などがあるが、業務パッケージの標準機能を最大限適用して、外付けプログラムの開発を必要最小限に抑えることが、これらの目的を達成するためには重要である。

本問は、業務パッケージを採用した情報システム開発に当たり、外付けプログラムの開発を抑えるために利用部門と合意した内容、及び外付けプログラムを開発する際の工夫点を具体的に論述することを求めている。論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべき業務パッケージの活用に関する知識、プロジェクト運営の実践能力、利用部門と調整する能力などを評価する。